日本地球惑星科学連合 固体地球科学セクション 地球内部科学小委員会 会合議事録案

日時:2015 年 5 月 27 日 13:00-14:00

会場:幕張国際会議場 203 号室

出席者:田中(委員長)、井上(副委員長)、大谷、鍵、吉澤、山崎、高橋

議事

2015 年の活動予定

1. 東大地震研 研究集会 JSEDI キックオフ集会(仮)について、委員長より予算、日程、準備状況の報告。当小委員会の活動の一環として承認した。
2. 2016 年に AGU と JpGU がジョイントセッションを持ち、2017 年度に AGU と JpGU が共催されることについて、大谷氏より背景を説明いただいた。その際に本小委員会が果たす役割を議論した。

   (欠席者向け非公開メモ

   2016 年の Joint session は AGU プログラム委員会が扱うことを JpGU プログラム委員長から提案。検討中回答待ちとのこと。(ちなみに 2016JpGU プログラム委員長は熊本大学西山忠男先生(専門:岩石学))

   本小委員会から AGU SEDI、MR (Mineral and Rock Physics)、T(Tectonophysics)などにコンタクト可能。セクションボードの判断を仰ぐ。

   2017 年の取り扱いは未定。2017JpGU のプログラム委員長が内定(九州大学 Huixin Liu 先生(専門分野:宇宙物理、下層大気-超高層大気結合))。

   国際セッション数の目標 2015 年の 50 個から 2016 年は 70 へ。増加分 20 個が AGU とのジョイントセッション。固体地球は約 3 割の 7 セッションの担当を期待されている。2017 年は国際セッション 100 個(全体の半分)が目標。)

3. その他

   IUGG2015 に関する報告。

   地球深部構造関連のユニオンシンポジウムが U5 として開催される。

   SEDI のビジネスミーティング

   若手賞受賞記念講演が U11 として開催される。

Goldschmidt 2016（2016/6/26-7/1 にかけて横浜(Pacifico YOKOHAMA)で開催）において本小委員会が連合の窓口としてお手伝いできることを確認した。